

医療現場でやっちゃえ社会教育

～地域・医療存続に懸けるプロジェクト～

令和7年度 第2回島根県社会教育委員の会
 ー意見交換ー
 ひらく つながる しまねの人づくり
 ～しまねの社会教育の「ひらく」を進めるために～
 2026/02/06

1

人員不足→現在の体制維持が困難 2023、12、28
 病棟休床・外来縮小→島民が住み続けられなくなる

働く職員の確保

- ・人が集まり、集まった人がもっと居続けたい環境
- ・職員全体がもっと楽しくやりがいをもって働ける環境

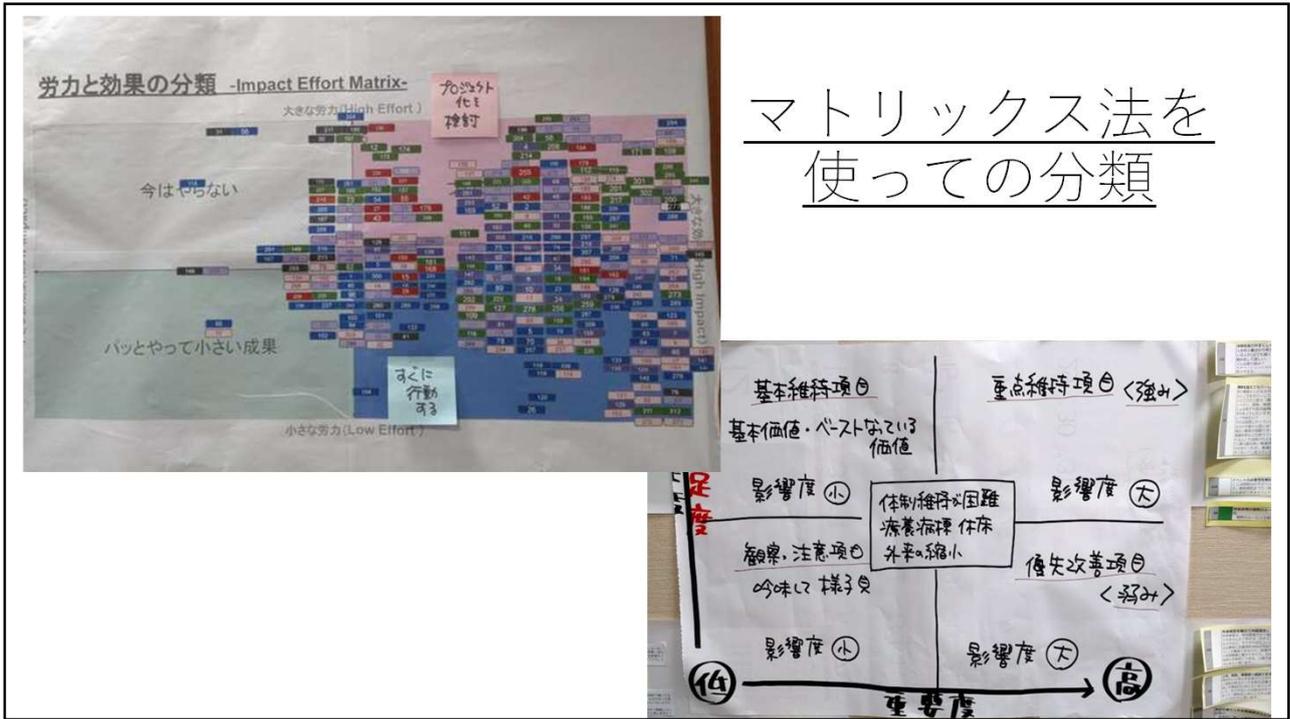
島前病院の未来をつくっていきましょう！

隠岐島前病院の未来を考える会 ～日本一働きやすい職場へ～
 全職員に誹謗中傷はなしで実現可能かどうかは置いといて忌憚のない意見やアイデアを募集 **312件集まる**

島前病院の未来を創るワーキングチームを結成し全職員へ呼びかけ参加者を募集 **職種の垣根をこえた志願者16名**

当時参与（現院長）元、6チームに分かれ活動がスタート！

2



3



4

ビジョンの共有



病院改革大作戦！

隠岐島前病院の未来を考える

～日本一働きやすい職場へ～

<病院の理念>

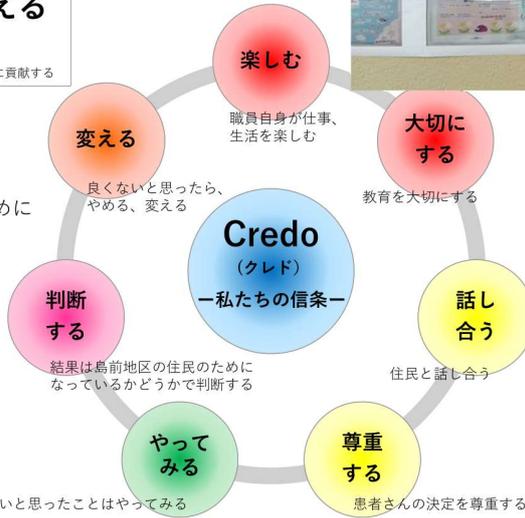
地域住民の安心と信頼が得られる病院づくりと良質な医療の提供で地域の発展に貢献する

Mission(ミッション)ー私たちの使命ー

隠岐諸島島前地区の住民が安心して過ごすために医療を継続して提供する

Vision(ビジョン)ー私たちの目標ー

住民がここに住んで良かった、職員がここで働いて良かったと思える病院作りをする



Proposal: 島前病院の未来を創るワーキングチーム

5

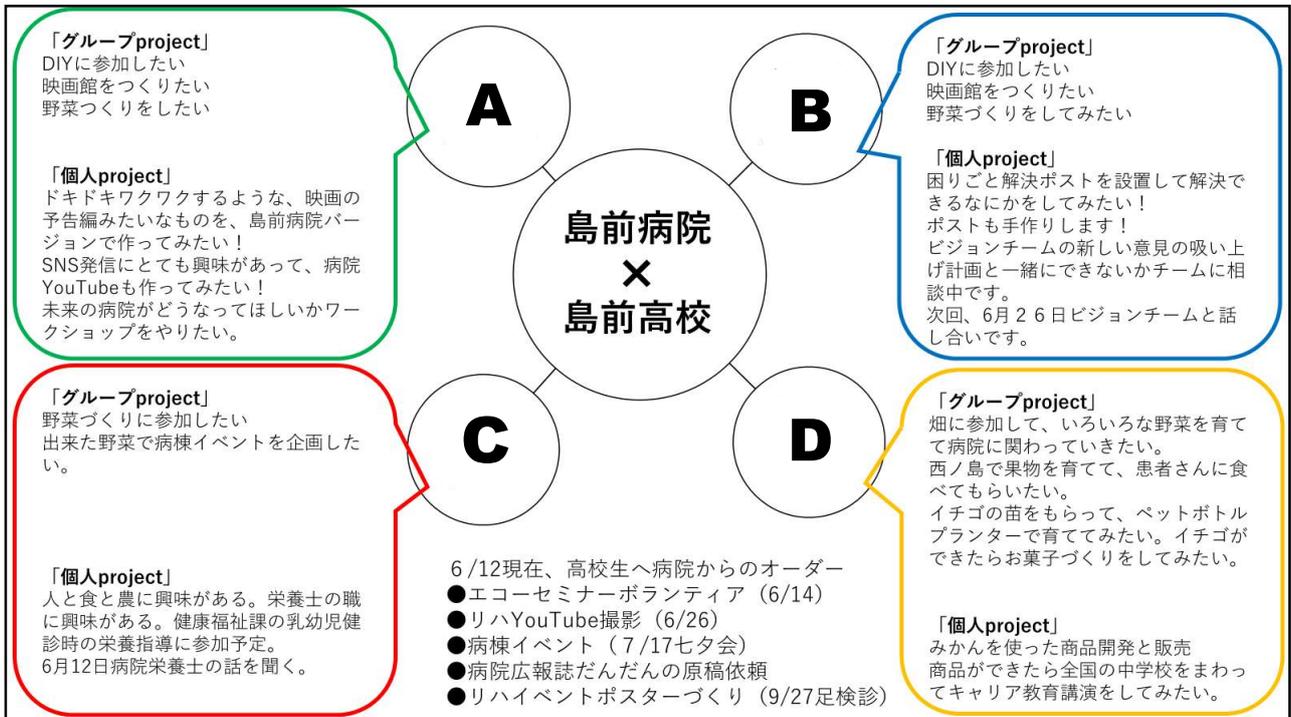
ワーキングギャラリー



6



9



10

社会教育流儀から仕掛ける地域づくりと、離島へき地医療機関の緊急課題解決の両立を木村式(木村俊昭 スーパー公務員塾長)地方創生の方程式にのせて

- ①一人一人のやってみたいをできる化 (チーム作り)
- ②やってきたことを見える化 (病院の学会発表や、しまね大交流会のように)
- ③続けていくための仕組み化 (プロジェクト化) に挑戦

病院の経営改革の柱の一つとして活動を続けていくための仮説
日本一働きやすい職場づくりの方程式として

- ・楽しくやりがいのある職場は、
「人が集まること×居続けたくなる環境」の掛け算
- ・未来を語り合う仲間づくりは、
「意見・提案+職種の垣根を超えた職員が集うこと」の足し算